



2025 年 10 月 15 日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 兼 C O O 国 本 亮 一
(コード番号：3856 東証スタンダード)
問 合 せ 先 : 人 事 総 務 本 部 I R ・ 広 報 部 副 部 長 内 田 晋
電 話 : 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

(開示事項の経過) 当社連結子会社による米国新工場 太陽光パネル生産開始に関するお知らせ

当社は、2024 年 11 月 25 日開示「当社連結子会社による米国新工場建設（孫会社取得）に関するお知らせ」にて公表しました、連結子会社 TOYO Co., Ltd.（以下、「TOYO」という。）の米国テキサス州ヒューストンの太陽光パネル新工場（以下、「米国新工場」という。）において、本年 10 月 13 日にテキサス州ヒューストン市当局より、入居・操業許可証（英名：Certificate of Occupancy）を取得したことから、本格的な量産を開始することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOYO 米国新工場の生産開始について

TOYO は、現在の主力事業拠点であるベトナム国に加え、太陽光パネル及びセルのグローバル・サプライチェーン体制確立へ向けた一貫として、エチオピア国の太陽光セル新工場において、4 月初旬に生産を開始し、世界各国への販売を展開しています。一方、太陽光パネルの米国新工場では、既に試作を開始していましたが、この度テキサス州ヒューストン市当局より、入居・操業許可証を取得したことで、今後量産規模へと生産を拡大し、米国顧客への販売を本格化していきます。

2. 今後のグローバル・サプライチェーン体制について

TOYO は、米国新工場において、高効率太陽光パネルの生産能力を年間 1 GW（ギガワット）にする計画です。試作段階において、米国新工場で製造した太陽光パネルに関しては、米国顧客から高い評価をいただいております。TOYO は、今後米国新工場で太陽光パネルに関し、生産規模の拡大に取り組めますが、同製品は米国政府による税制優遇措置の対象となることから、同国内の大規模な太陽光発電開発業者からの旺盛な需要が見込まれます。

TOYO は、ベトナム国、エチオピア国並びに米国 3 極での生産拠点を確立することで、太陽光パネル及びセルのグローバル・サプライチェーン体制を強化し、再生可能エネルギーの世界的な需要拡大に対応します。

3. TOYO の会長兼 CEO である Junsei Ryu（当社代表取締役会長兼 CEO）のコメント

「今回の入居・操業許可証の取得は、TOYO の米国製・米国向け戦略における大きな一歩となります。TOYO は、高品質な米国製太陽光パネルの生産拠点をテキサス州に構築することで、今後信頼性の高い供給体制の下、パートナー企業をサポート出来ることを誇りに思います。現在米国顧客からの受注量が急増しているのは、TOYO の技術力、事業の推進力並びに米国市場への長期的な事業のコミットメントに対するパートナー企業の期待と信頼の表れです。」

◇本件に関連する TOYO の英語リリースは下記よりご参照下さい。

<https://investors.toyo-solar.com/news/news-details/2025/TOYOs-Houston-Solar-Module-Facility-Commences-Commercial-Operations-with-Secured-Customer-Demands/default.aspx>



TOYO Solar Texas LLC（米国新工場）の写真

以 上